

みきゃんと一緒に「えがお体操」

◎えがお体操キャラバン近永小学校来校

みきゃんを手にえがお体操勉強中



6月30日、近永小学校で「えがお体操キャラバン」が行われました。これは愛媛県が、2017年に開催される「えひめ国体」をPRするために作られた「えがお体操」を広めるために、県内各学校を訪問しているもので、この日は愛媛県えひめ国体推進局国体総務企画課の職員が、マスコットの「みきゃん」とともに来校。「みきゃん」は児童たちと一緒に「えがお体操」を行って、会場を大いに盛り上げました。

鬼北町では、18日の愛治小学校、日吉小中学校に続いて3回目の訪問となりました。

自分で作った苔玉に、満足の笑顔

◎日吉いきいき講座・苔玉教室

講師を手に苔玉づくりスタート



「日吉いきいき講座・苔玉教室」は6月7日と28日、日吉住民センター1階図書室で行われ、16名が参加しました。

今回の講座では、一般的な苔玉づくりと、苔玉を使った風鈴づくりに挑戦。参加者のほとんどが苔玉づくりは初めての体験で、講師の指導を受けながら、ぎこちない手つきで、苔や土を思い描く苔玉の形へと整えていきました。

なかなかお手本のような理想の形にならない苔玉に、参加者たちは悪戦苦闘。何度も微調整を繰り返しながら、自分だけのオリジナルの苔玉を作り上げました。

音楽と絵本、子どもたちは興味津々

◎七夕おはなし会

物語に引き込まれていく子ども



「七夕おはなし会」は7月4日、中央公民館図書室で行われました。

この日は、まず始めに電子ピアノとバイオリンによる演奏会を実施。間近でバイオリンの音色が聴ける貴重な機会に、子どもも大人も夢中になって聞き入っていました。

今回の読み聞かせのテーマは「梅雨」と「七夕」。テーマに沿った絵本が朗読されると、子どもたちの世界に魅了されていく子どもたち。会の最後には、みんなでたんざくに願い事を書き、「叶いますように」と思いを込めて、笹に飾り付けていきました。

農業と自然のつながりを知ってほしい

◎ふるさと水辺の生き物教室

「何かおる」そと網を伸ばす児童



6月30日、泉小学校で「ふるさと水辺の生き物教室」が行われました。

泉小学校の3～5年生を対象に、愛媛県主催で行われた本教室。松野町おさかな館館長の津村氏や愛媛大学の日鷹准教授を指導者に迎え、泉小学校近くの田んぼや水路で生き物の採集を行いました。

カエル、おたまじゃくしやトンボなどさまざまな生き物を採集した児童たち。中には、大きな鯉やなまずを捕まえた児童もあり、身近な環境で出会えた多種多様な生き物の姿に、児童たちは終始目を輝かせていました。